

平成27年度 北陸農政局農政功績者表彰の受賞

亀田郷土地改良区は、国全体として推進している再生可能エネルギーに着目し、地域の排水負担の軽減を図るべくエネルギー利用システムについて東京大学サステナビリティ学連携研究機構と共同で検討を開始するなど試行的に取り組んでいました。平成25年度には太陽光発電施設の建設について事業採択され、現在稼働しています。

これら取組が発電電力による土地改良施設等の維持管理費の農家負担軽減を図るとともに、CO₂排出量の削減による地球温暖化の防止や県内外から訪れる視察者へのPR活動を通じた交流人口の増加による農村活性化を目指すなど、地域資源を活用した魅力ある地域づくりの模範となるものであるとして、平成27年度北陸農政局農政功績者として表彰されました。



表彰式：平成28年3月3日 北陸農政局

亀田郷用水管理委員会設立

日頃、用水管理全般について、組合員各位よりご理解とご協力を頂きお礼申し上げます。

ご案内のとおり、一般会計予算・維持管理費の中で大きな予算比率を占め、賦課金が財源充当されている揚水機場運転経費抑制と節約について、この間の電力料金値上げもあり、各用水管理委員会で検討を重ね、組合員の皆様からご理解を頂き、平成14年度から間断運転の実施、平成24年度から夜間停止を実施して経費節減と、限りある用水の効率運用に努めて来ました。

亀田郷中期計画2011に基づく用水管理委員会の運営見直しについては、平成28年度より業務運営細則に基づき事業部会の業務分担として、亀田郷用水管理委員会を設立し全郷の六つの用水管理委員会（大小阿賀・両川・東線・大形・中野山・親松）を集約しました。

又、それに伴いこれまでの各用水管理委員会を各水

利調整委員会とし、耕作地の広域化、出入り作の増加に伴う連絡調整体制の強化、事務処理の効率化、予算・助成金の見直しを検討、実施しました。

去る4月1日には設立総会を開催し、規約、委員会組織構成、予算について報告承認の後、本年度の基幹揚水機場運転計画を報告し確認頂きました。

また、小揚水機場監視・制御システムの構築について平成28年度の団体営農業水利施設保全合理化事業（管理省力化施設整備）において、10機場の監視・制御装置を改修し、きめ細かい配水操作により、用水の合理化と配水管理の省力化を実現していきます。

いずれにいたしましても、各調整委員会と亀田郷用水管理委員会の決定のもとで、限られた用水を適切な管理により効率よい配分に努めて参りますので、組合員各位の一層のご理解とご協力をお願いします。

亀田郷用水管理委員会
機構図

事業部会

亀田郷用水管理委員会

大小阿賀水利
調整委員会

両川水利
調整委員会

東線水利
調整委員会

大形水利
調整委員会

中野山水利
調整委員会

親松水利
調整委員会